

講師は日本代表ランナー 町内の中高生が走りのコツを学ぶ

9月21日、翌日の白鷹若
鮎マラソン大会のゲストラ
ンナーであり、世界陸上で
メダルを獲得した千葉真子
さん（マラソンランナー）
スポーツコメンテーター）
と市橋有里さん（マラソン
ランナー／ランニングアド
バイザー）によるランニン
グクリニックが荒砥小学校
体育館で行われました。

この日は、白鷹中学校と
荒砥高校の陸上部員あわせ
て約30人が参加。千葉さん
と市橋さんは、参加者の走
りや動きづくりの様子を確
認し、「大きく軽やかな動
きで。腰の位置は高く」な



①参加者と一緒に体を動かす千
葉さん（右から2人目）⑥市橋
さんは、レース中にお腹が痛く
なったら手のツボを押すと良い
と教えてくれた



どとアドバイスをしなが
ら一緒に体を動かしました。
また、参加者から「大会
前には何を食べたら良い
か」「走っているときは何
を考えているのか」「レ
ス中にお腹が痛くなったら
どうしたら良いか」などの
質問が出され、「いろいろ
と試してみても、自分に合っ
たものを選択すると良い」
と市橋さん。最後に「小さ
な目標を一つひとつクリア
していくことで自分の未来
が開けてくる。まずは目の
前の目標に向かってがんば
ってほしい」と千葉さん
がエールを送りました。



（左から）金田捷夫会長、大木一男副会長

白鷹町自主防災組織連絡協議会が 防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞

白鷹町自主防災組織連絡
協議会（金田捷夫会長）が
防災功労者として内閣総理
大臣表彰を受賞しました。
平成25年、26年の豪雨災
害に際し、住民の避難誘導、
避難所の開設、被害者宅の
支援活動等の復旧活動に尽
力した活動が評価され、昨

年の国土交通大臣表彰、防
災担当大臣表彰に続く受賞
となりました。表彰式は9
月12日に総理大臣官邸で行
われ、協議会を代表して金
田会長・大木一男副会長が
出席し、安倍晋三内閣総理
大臣から表彰状を授与され
ました。

林業再生に向けた新たな取り組み 木製の額縁に町産の杉材を活用

9月23日、特別養護老人
ホーム白光園において、数
え年で白寿（99歳）及び米
寿（88歳）を迎えた利用者
の皆さんに、町から、額縁
に町産の杉材を活用した賀
詞が贈られました。

この木製の額縁は、木を
製材する際に出る端材を活
用し、「町産木材を余すと
ころなく使って何か作れな
いか」という思いや、技術
の継承及び雇用の創出を目

的として、白鷹町産木材加
工研究会により製作された
もの。製作にあたり、年輪
幅の揃った材を合わせ、額
の四隅のつなぎ目にも木目
の美しさが現れるようにす
るなど、隅々までこだわっ
たつくりになっています。

この木製の額縁を用いた
賀詞は、各地区敬老会など
を通し、白寿12人、米寿
147人の全員に贈られま
した。



佐藤誠七町長から手渡された賀詞を笑顔
で受け取る利用者